



林 声

2023

5月号



県内各地の、地理空間情報や先端技術を活用することで、安全で働きやすく効率的な林業経営を実現し、林業を魅力ある職場として担い手の確保・育成を進める事業者の取組を紹介する「スマート林業・おかやま」。今回は、山陽商事株式会社の人材の確保・育成に最先端技術を活用した取り組みについてご紹介します。(詳細はP 4に記載)

目 次

就任のごあいさつ	2～3	森林・林業施設の紹介	
岡山県林業振興基金事業の紹介	3	(作陽学園高等学校・食堂棟)	14
スマート林業・おかやま	4		
普及指導区の情報(真庭普及指導区)	5		
令和5年度主要事業の紹介	6～9		
狩猟免許試験・更新のご案内	9		
県主催の今年度の研修計画	10		
技能講習等情報	11		
林産物市況	12		



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

就任のいあつわし

林政課長
掛屋 晶則

若葉の美しい季節を迎え、会員の皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私、この四月の人事異動により林政課長を拝命いたしました。誌上をお借りして、一言、ご挨拶を申し上げます。

県土の約7割を占める多様な森林は、水源のかん養や土砂崩れの防止、木材の生産、二酸化炭素吸収など、私たちの生活に欠かせない役割を果たしています。

また、林業・木材産業は、地域の経済社会の維持発展に必要な産業であり、そこから生産された木材を利用することは二酸化炭素の貯蔵を通じて地球温暖化対策に貢献されます。

県内の45年生を超える人工林面積は人工林の7割を占めるなど本格的な利用期を迎えるなか、「伐つて・使って・植えて・育てる」

林業サイクルを持続的に循環させるため、木材を利用しつつ、少花粉スギ・ヒノキによる再造林を行い、若い森林を確実に造成することが必要となっております。

こうした中、所有者が経営・管理できない森林を、市町村が仲介役となつて林業経営者に集積・集約化する森林経営管理制度が進められています。県では、本制度を担う市町村への支援、林業経営体の育成や担い手の確保、森林資源のデジタルデータ化に取り組みまいります。

また、令和3年10月の公共建築物等木材利用促進法の改正に伴い、本県におきましても、岡山県産材利用促進指針を令和4年2月に変更し、公共建築物や民間非住宅等建築物一般に県産材の一層の利用促進に務めることとしたところです。

21おかやま森林・林業ビジョンで描く将来像の実現に向け、県産材の安定供給体制の整備とさらなる需要拡大に務めてまいります。

これら諸施策の推進にあたりましては、地域の皆様方をはじめ、関係機関との一層の連携を図りながら進めてまいりたいと存じますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

治山課長
武田 保

新緑の候、会員の皆様方には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私、この度の人事異動により治山課長を拝命いたしました。誌上をお借りして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本県は、県土の約7割が森林に覆われ、「晴れの国」の穏やかな気候の下、県内一円に分布するマツ林をはじめ、シイ・カシなどの常緑樹やコナラ・アベマキなどの落葉樹、スギ・ヒノキの人工林など、多様な森林が広がっています。

これらの森林は、先人のご努力により守り育てられ、木材の生産、水源のかん養、洪水や土砂崩れの防止、さらには生物多様性の保全など、さまざまな機能を有し、私たちの生活に多くの恩恵をもたらしており、この優れた働きに対する県民の期待も高まっています。

こうした中、県では、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう、間伐、再造林等による森

林の整備や治山施設の設置、ナラ枯れ被害対策など森林病害虫防除を実施し、森林をより健全に保つことを通して、防災・減災対策を推進し、県民の皆様の安全・安心の確保を図っています。

そして、民有林の約4割を占める人工林の多くは伐期を迎えており、林道、作業道などによる路網整備を進めるほか、伐採から植栽までの一貫作業の推進やICT技術を利用した省力化等によって、収益性の向上と労力の確保を図りながら、少花粉苗木による確実な再造林を推進し、「伐つて、使って、植えて、育てる」といった林業サイクルを循環させ、森林資源の平準化と花粉発生源対策を一層加速させてまいります。

また、林地の開発指導においてもICTを活用した情報共有システムを導入し、森林の適正管理に努めてまいります。

これらの施策の推進には、森林所有者の皆様をはじめ、関係機関との緊密な連携が不可欠です。

今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



森林研究所長
谷 智仁

新緑が目には鮮やかな季節となりました。会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の人事異動により森林研究所長を拝命いたしましたので一言ご挨拶申し上げます。

当研究所は、昭和27年に林業試験場として開設されて以来、今年度で71年目を迎えています。これまで、自然的条件や林業生産技術等の特性を踏まえながら、長期的な展望に立った様々な試験研究等に取り組み、本県林業発展の一翼を担ってきたところです。

試験研究として本年度は、林業分野では、「少花粉品種の種子安定生産技術の確立」「少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の生産技術の確立」「早生樹種の選抜・育成に関する調査研究」「高齢級人工林の資源量推定に関する研究」「ナラ類集団枯損についての調査研究」「アカマツを有効利用した

マツタケ培養技術の高度化」を、木材加工分野では、「香りを評価指標とするヒノキ材人工乾燥条件の検討」「ヒノキ大径材丸太の品質評価」「広葉樹の有効利用に関する調査研究」「CLTの新たな分野での利用方法の検討」など、18の研究課題に取り組むこととしております。

その他、県内で唯一となる少花粉スギ・ヒノキ等の優良種苗の生産を行っている機関で、安定的かつ持続的な種子生産に努めています。

また、大断面の製材品や集成材等の強度等性能評価試験を実施して、木材業界への技術支援を行っています。

加えて、林業技術研修棟を拠点として、林業就業者や市町村職員等を対象とした林業技術研修等を実施して、林業技術の普及を図っているところです。

今後とも皆様の必要とされる、研究所を目指してまいりますので、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

岡山県林業振興基金事業 の紹介

(公財)岡山県林業振興基金では、林業労働力の安定的確保及び若い担い手の育成支援等を図ることにより、森林の適正な維持管理を推進し、林業の安定的な発展に資することを目的とし、様々な事業を実施しています。

定着率優良事業者表彰事業

林業労働者の定着率向上のため様々な取組を推進し、安全管理の改善向上に努め、成果を挙げている3事業者の功績を称え表彰し目録を授与しました。

- 【(有)杉産業】(新見市)
- 【(株)三謳】(真庭市)
- 【(有)寿園】(真庭市)



株式会社 三謳
母里靖浩代表取締役(写真右)

林業大学校進学支援事業

県内出身者で林業大学校に進学

した4名の方に助成し、全員が県内の林業事業者へ就職しました。

林業従事者勤続表彰事業

林業従事者の長期定着を図ることを目的に、勤続年数が一定以上の方を表彰しました。

- 【満15年】3名
山口博(新見市森林組合)
岩野亘(津山市森林組合)
繁井秀秋(美作東備森林組合)
- 【満10年】4名
立野功二(岡山森林組合)
野村英明(岡山森林組合)
池田邦博(新見市森林組合)
池田隆弘(株)三謳
- 【満5年】13名
新本祐司(新見市森林組合)
迫原耕平(新見市森林組合)
瀬島潔(作州かがみの森林組合)
中司祐嗣(作州かがみの森林組合)
黒田大地(津山市森林組合)
上原光昭(奈義町森林組合)
森本卓(奈義町森林組合)
前田裕介(奈義町森林組合)
梶原健二(株)山祐
大谷誠(有)杉産業
井原敏之(有)寿園
本元俊勝(株)三謳
池田勝一(株)山

他の事業についてはHPをご覧ください。



林業振興基金 HP

スマート林業・おかやま
 ～伐倒補助具ガイドレーザー
 ガイドレベル～
 【津山普及指導区】

一 はじめに

昨年度、津山普及指導区の、山陽商事株式会社において、林業経営体提案型研修事業（森林環境譲与税活用事業）を活用した、林業の効率化とリスク低減等に資する機器を使用した専門的技術研修が行われました。

今回は、その中で使用された先進的機器装置について概要をお伝えします。

二 ガイドレベルガイドレーザーを活用した研修

令和5年2月16日に、専門的技術研修として、山陽商事津山出張所で使用方法の研修を行った後、鏡野町中谷において現地研修が実施されました。

この研修の目的について前田多恵子代表取締役に向いました。

「新年度から3人の新規就業者（作業員）が入社するので、ベテラン作業員が新人の教育を行うにあたり、伐倒補助具を活用した伐倒についての研修会を開催することとしました。」

伐倒については林業における作業別死亡災害の約68%が伐倒作業中に起きています。

特に「かかり木」に関わる事故が多く、「かかり木」を減らすことが重大事故の予防になると考えました。

ベテラン作業員に先進的機器装置について学習してもらい、それを活用して新人作業員へ正確な伐倒角度と伐採方向を教えることにより作業員全体の安全・安心につながる職場となり、新規就労者の定着も図られると考えています。」とのことでした。



ガイドレーザーで伐倒方向を確認

受講者の感想

・教える人によるバラツキが防げ、新人への指導基準が一本化できる。

・ベテランを含む作業員の伐倒技術の見直しができる。

この研修後、新規就業者の3人が伐採の特別教育を終了して現場での伐採（実践）を始める前に、空師の嘉壽（かなが）氏（カナガツリ一サービス）を講師として2日間、機材を活用した実践研修を行いました。

講師に実践での機材活用について伺うと「実際の伐採作業では、作業効率を考えると現場での活用は難しいが、伐採の基本を習う場合や感覚を養う上で有効である。」とのことでした。



受け口の状況と伐倒方向の確認

三 製品の紹介

伐倒方向をレーザーで可視化し、勘だけに頼らずに受け口を正確に

作成する補助装置です。

間伐作業においては高性能林業機械の活用が進んでいるものの、伐倒作業や搬出ルート確保等にはいまだチェーンソー作業は欠かせません。そういった伐採作業において「ガイドレベルガイドレーザー」を使用することで、伐採作業にかかわる労災原因を無くし、労働災害・死亡事故のない安全・安心な労働環境を目指すものです。

四 おわりに

労働力不足を解消するため、作業効率と安全性を高めるスマート林業ですが、山陽商事（株）のように高性能な林業機器を使いこなす人材の育成・安全教育が林業の将来も豊かにすると感じました。

（津山普及指導区 長畑弘道）



カイドレベルの装着状況

普及指導区の情報
**森林経営管理制度の
 真庭市の取組みについて**
 【真庭普及指導区】

一 はじめに

真庭市では、市内にある豊富な森林資源を有効に活用するため、様々な取組みを行っています。

今回は、森林経営管理制度を活用し森林の集約・流動化の推進を目的とした、「まにわ山守パートナー」制度の取組みについてご紹介します。

二 背景と目的

真庭市の人工造林は、高度経済成長期を中心に多くのスギやヒノキが植栽されました。

現在では、その多くが伐期齢を迎え、伐採面積は年々増加する一方、再造林が進まない状況となっています。

令和3年度に、真庭市が鉄山地区で行った意向調査によると、森林所有者の大半が規模の零細な所有者で、森林経営に対する意欲の低下や、森林の売却や寄付の希望などの声が寄せられました。

このような声を受け、市では受け皿整備などに取組み、持続的な

森林経営や森林資源を確保しながら、今後の森林のあり方について、早急に検討することとしました。

三 3者協定と「まにわ山守パートナー」制度について

令和4年6月21日に、真庭市役所において真庭市、真庭森林組合及び木質資源安定供給協議会の3者が「真庭市における森林の集約・流動化の推進に関する協定書（まにわ山守プロジェクトに関する協定）」を締結しました。

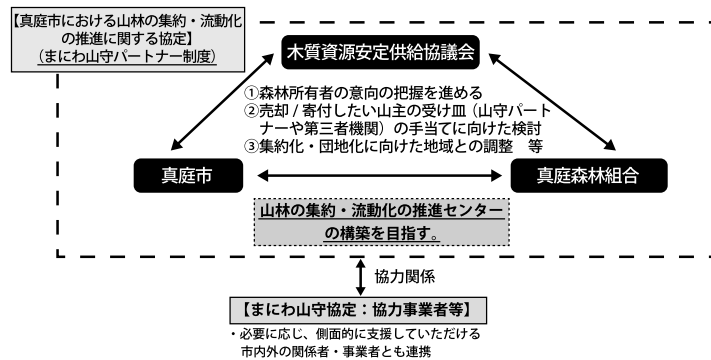


協定書調印式

協定を締結した3者が相互に連携し、森林の集約や流動化を図りながら、今後の森林の在り方を検討していくことで、合意がなされています。

この協定により、森林経営管理

法による森林所有者への意向調査、森林の売却や寄付の受け皿の検討、集約化・団地化に向けた地域内の調整、これらを一体的に運営するためのシステム構築などを目指すこととしています。



まにわ山守パートナーのイメージ

このうち、森林の売却や寄付の受け皿の検討では、今までこのような仕組みがなかったことから、森林所有者の声にこたえるためにも新たな受け手や担い手として、長期的かつ適切に森林管理を行う意

欲がある者を、「まにわ山守パートナー」として認定する仕組みを検討することとしています。

この仕組みにより、森林所有者から寄せられた様々な情報を、「まにわ山守パートナー」認定者へ提供し、森林整備へと繋げ、持続可能な森林資源の確保を目指すこととしています。

このほか、多様な森林所有者の意向を踏まえ、必要により集約化や団地化に向けた地域の調整、売却や寄付などが伴わない森林の在り方などについても検討していく予定です。

四 今後に向けて

「まにわ山守パートナー」制度は、需要と供給の情報を一元化しマッチングを図るもので、今までにない新たな仕組みづくりとして期待されています。

市では、森林は公益的機能を有する共通の財産、真庭の財産であるとして、今後も知恵を出し合いながら将来に亘って守り発展させていきたいとしています。

真庭地域森林課では、この仕組みにより、森林整備が促進されるよう支援して参ります。

（真庭普及指導区 野口 朋弘）

令和5年度主要事業の紹介

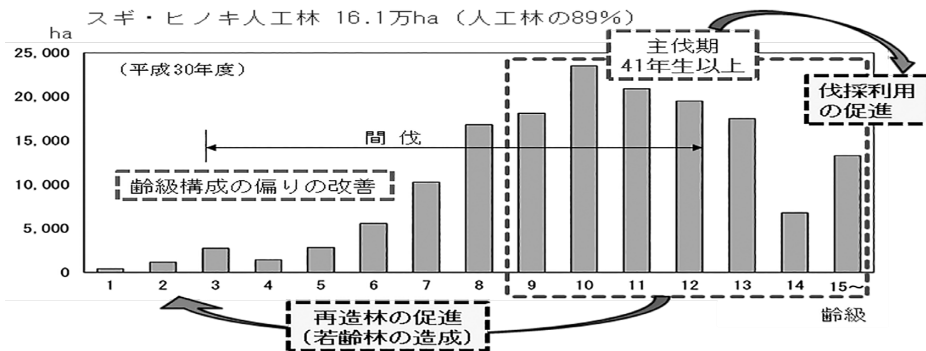
●次世代につなぐ少花粉の森整備事業

【担当課：治山課造林班】

本格的な利用期を迎えたスギ・ヒノキ人工林の伐採と、少花粉スギ・ヒノキ苗木による伐採跡地の再造林を促進するため、再造林に係るトータルコストの削減に向けた支援を行い、持続的な森林経営を推進します。

また、森林整備に不可欠な森林作業道づくりを推進するとともに、花粉発生源対策の加速化を図るため、さらに積極的な少花粉苗木による植替えや、少花粉と特定母樹の特性を併せ持つ品種の早期普及を進めるための準備を行います。

- 一貫作業の推進
- ドローンやGNSS測量などICT技術の活用による労力確保
- 伐採と再造林の連携促進
- 丈夫な森林作業道づくりの推進
- 期待される少花粉苗木の供給体制整備



●造林事業

【担当課：治山課造林班】



森林の有する水源かん養、地球温暖化防止などの多面的機能を持続的に発揮させるため、主伐・再造林の推進や間伐等の森林整備を実施するとともに、広葉樹林・針広混交林への誘導等の多様な森づくりを推進します。間伐については、21おかもやま農林水産プランによる間伐の実施目標（R元～R5年度）の達成に向け、計画的な事業推進を図ります。

- 国庫補助造林事業
- おかもやま元気な森づくり推進事業【おかもやま森づくり県民税】
- 少花粉スギ等造林対策事業【おかもやま森づくり県民税】

●治山事業

【担当課：治山課整備班】

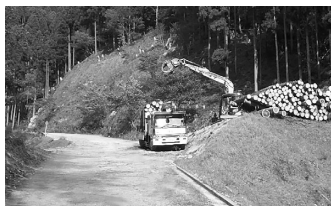


山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	令和5年度計画
治山事業(国庫補助分)	32箇所
治山施設維持管理事業等	7箇所

●林道事業

【担当課：治山課整備班】



間伐等の森林整備や素材生産の効率化等を通じて、県産材の安定供給と持続可能な魅力ある林業の実現を図るため、林内路網の骨格となる林道の開設・改良・舗装等を計画的に推進します。

・林道の現況（令和3年度末現在）

路線数	総延長	林道密度
1,361路線	2,158 km	4.8 m/ha

●おかやまの木で家づくり支援事業

【担当課：林政課林業木材班】

環境への負荷が少なく再生可能な循環型資源である県産材を積極的に使っていただくため、県産森林認証材を使用して住宅や民間非住宅の新築等を行う施工業者に助成金を交付します。

1 助成対象者 県内において住宅を新築又は改修する施工業者（大工・工務店等）

2 主な採択条件

(1) 木造住宅・木造民間非住宅の新築

建築主が居住するために新築される一戸建ての木造住宅及び木造民間非住宅で主要構造部材に県産森林認証材を4㎡以上使用

(2) 豪雨災害等により被災した住宅の改修

建築主が居住するために改修される住宅で主要構造部材等に県産森林認証材を2㎡以上使用



3 助成金額

区	分	一戸(件)当たり助成額	受付件数
住 宅	新 築	1 2～2 4 万円(県産森林認証材 3 万円 / ㎡)	4 5 0 戸程度
	改 修	6～2 4 万円(県産森林認証材 3 万円 / ㎡)	
民間非住宅	新 築	1 2～2 4 万円(県産森林認証材 3 万円 / ㎡)	5 0 件程度

4 申込先 (一社) 岡山県木材組合連合会 (HP <http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>)

●県産材利用促進対策事業

公共施設等の展示効果の高い建築物に、CLTなどの県産材を使用した木造化や内外装の整備、木製品導入等を支援します。

1 助成対象者 県内に公共建築物や多数の集客が見込まれるなどPR効果の高い施設を整備する者

2 主な採択条件

- ・木材利用促進のための普及啓発の実施・協力が可能であること
- ・県産材使用量(材積)のうち概ね30%以上が森林認証材であること

3 支援内容・補助率



区	分	補助率(補助上限額)
①	設計支援…県産材を主要構造材に使用する建築物の設計費	1 / 2 以内(200 万円 / 施設)
②	木造化支援…主要構造材に使用する県産材の材料費、加工費等	1 / 2 以内(500 万円 / 施設)
③	木質化支援…内外装に使用する県産材の材料費、加工費等	1 / 2 以内(200 万円 / 施設)
④	木製品導入支援…県産材を使用した木製品費等の購入費、材料費等	1 / 2 以内(200 万円 / 施設)

●木づかい提案・実証事業

県産材（CLTを含む）を活用した普及性や先駆性が高い中大規模木造建築物等の整備を支援します。

1 事業主体 市町村、民間事業者等

2 補助率 木造化・木質化に係る県産材の木材費等（材料費、加工費及び運搬費） 1 / 2 以内
※民間建築物の対象部材に使用する県産材については、その建て方費も対象

●おかやま木づかいサポート事業

公共建築物等を整備する市町村や民間事業者を対象に、CLTなどの木造建築に関するセミナーを開催するほか、木造化・木質化の促進を支援するための相談窓口（木づかいサポート窓口）を開設し、技術的な助言・指導を行う専門家を派遣します。

事業主体 岡山県（岡山県建築士会に委託）

●県産材利用促進PR事業

県産材をPRするため、エンドユーザー等を対象とした展示会や木工教室の開催、広告媒体を利用したPR等の活動を支援します。

1 事業主体 県産材の生産及び利用に取り組む団体

2 補助率 1 / 2 以内（上限25万円）

●森林管理システム市町村等支援事業

【担当課：林政課森林企画班他】

平成31年4月に森林経営管理法が施行され、市町村が仲介役となり、森林所有者と林業経営体とを繋ぐ森林経営管理制度が進められています。県では、県に譲与される森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を運用する市町村等への支援を総合的に実施することで、森林管理の適正化と林業経営の効率化を図ることとしています。

1 推進体制支援

- ・県と市町村との連携推進会議の開催
- ・市町村職員や市町村が雇用する支援員（地域林政アドバイザー）を対象とした森林・林業の基礎研修の実施
- ・（公社）おかやまの森整備公社による専門的人材の紹介（林業技術者等の人材バンク）や技術相談、林業経営に適さない森林の管理受託体制の構築



2 森林管理データ整備・活用

- ・市町村と共有している森林クラウドの森林情報（森林資源、地図情報等）の充実、森林資源・地形情報のデジタルデータ整備

3 林業経営体の育成

- ・林業経営体代表者等を対象とした経営の意識改革や職員の資質向上に係る研修の実施
- ・森林研究所林業技術研修施設の整備等による人材育成環境の充実

●快適森林環境創出事業

【担当課：林政課森林経営班】

荒廃した里山林等を人が心地よい姿へ整備するとともに、松くい虫の被害林等において被害木等を伐採し健全な姿に再生することにより、安全で快適な森林環境を創出し、併せて森林の持つ公益的機能の回復を図ります。

〔里山林等再生事業〕

- 1 事業主体 森林組合
- 2 事業内容 不用木や竹林の伐倒・整理、緩衝帯の整理
(補助率：定額)

〔病虫害被害森林等再生事業(松くい虫被害林再生)〕

- 1 事業主体 森林組合
- 2 事業内容 過年度被害木及び不用木等の伐倒・整理
(補助率：定額)

〔広葉樹等利用促進事業〕

- 1 事業主体 (1) 森林組合、木材生産業者等 (2) しいたけ生産者等
(3) 市町村、森林組合、木材生産業者等 (4) 市町村、森林組合、木材生産業者、森林整備法人
- 2 事業内容 (1) 未利用広葉樹のしいたけ原木等利用に係る搬出経費 (補助率：1/2以内)
(2) しいたけ原木等の倒木接種に係る経費 (補助率：1/2以内)
(3) 大径広葉樹の有効活用に必要な実証経費 (補助率：1/2以内 (上限100万円))
(4) 林地残材の木材チップ等、有効活用に必要な実証経費
(補助率：1/2以内 (上限150万円))



●おかやまの森林・林業を支える担い手対策事業

【担当課：林政課普及指導班】

人工林の豊富な森林資源を活用して林業のサイクルを循環させ、林業の成長産業化につなげていくためには、知識と技術を備えた優れた担い手が必要不可欠であることから、林業の担い手の確保・育成・定着を図ります。

[晴れの国おかやまの林業就業促進事業] 実施主体：(公財)岡山県林業振興基金
 ・就業相談窓口の開設、「林業就業ガイダンス」等の開催、就業促進に向けた情報発信

[林業インターンシップ促進事業] 事業主体：県
 ・高校生や林業就業希望者等を対象とした林業機械等の操作を体験する現地研修の実施
 ・高校生を対象とした林業事業体等との交流の機会の提供

[林業担い手育成総合対策事業] 実施主体：(公財)岡山県林業振興基金
 ・認定事業体等の新規就業者への職場内研修への支援(補助率：1人当たり月額7万円)
 ・認定事業体等の現場作業員が、各種技能講習を受講する経費支援(補助率：定額)
 ・安全装備等の導入支援(補助率：1/2以内)
 ・林退共、木退共の掛金の一部助成(補助率：1/4以内)
 ・労働強度の低減を図るための現場作業資材・機材の導入支援(補助率：1/2以内)
 ・雇用管理改善に係る巡回指導の実施

[多能工育成総合対策事業] 実施主体：県
 ・地形、地質及び作業システムに適した森林作業道を作設できるオペレーターを養成する研修の実施
 ・林業機械を自身で整備できる技術者を養成する研修の実施

[伐採技術向上対策事業] 実施主体：県
 ・林業経営体の現場指導者を対象として、立木伐採技術の要点・指導技術についての実地研修の実施

[林業労働安全衛生推進事業] 実施主体：林業・木材製造業労働災害防止協会岡山県支部
 ・災害防止のための巡回指導、労働安全衛生推進会議の開催



令和5年度狩猟免許試験・狩猟免許更新のご案内

※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後内容を変更する可能性がありますので、岡山県鳥獣害対策室ホームページで最新の情報を御確認ください。 <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/328/>

1 狩猟免許試験

	期 日	開始時刻	試 験 会 場	所 在 地	定 員
第1回	6月20日(火曜日)	午前9時30分	マービーふれあいセンター	倉敷市真備町箭田40-1	90名
第2回	7月12日(水曜日)	午前9時30分	体験学習施設百花プラザ	岡山市東区西大寺南1-2-3	130名
第3回	8月6日(日曜日)	午前9時30分	勝山文化センター	真庭市勝山319	60名
第4回	8月25日(金曜日)	午前9時30分	たいこまるプラザ	高梁市成羽町下原606	50名
第5回	9月14日(木曜日)	午前9時30分	体験学習施設百花プラザ	岡山市東区西大寺南1-2-3	130名
第6回	11月10日(金曜日)	午前9時30分	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	津山市大田920	100名

2 狩猟免許更新

期 日	開始時刻	会 場	所 在 地
7月6日(木曜日)	受験票に記載	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	津山市大田920
8月10日(木曜日)	受験票に記載	体験学習施設百花プラザ	岡山市東区西大寺南1-2-3
9月5日(火曜日)	受験票に記載	マービーふれあいセンター	倉敷市真備町箭田40-1

お問合せ先

■岡山県農林水産部農村振興課鳥獣害対策室

電話：086-226-7439
 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

■備中県民局農林水産事業部森林企画課

電話：086-434-7052
 〒710-8530 倉敷市羽島1083

■備前県民局農林水産事業部森林企画課

電話：086-233-9832
 〒700-8604 岡山市北区弓之町6-1

■美作県民局農林水産事業部森林企画課

電話：0868-23-1384
 〒708-8506 津山市山下53

県主催の今年度の研修計画

岡山県農林水産総合センター森林研究所（普及連携部普及推進課 林業普及推進班）及び県から委託を受けた（公財）岡山県林業振興基金において、森林施業を担う林業従事者や市町村職員等を対象とした研修を今年度も引き続き実施します。



伐採技術向上研修（R4）

研 修 名	研 修 内 容	時 期	人 数	
多能工育成研修	森林作業道作設（基礎）	作設指針、作設手順、施工方法、補助金、線形計画、路網設計支援システム	5月	8名 募集終了
	森林作業道作設（応用）	線形計画、踏査選点、作設実習（基礎土工、応用土工）	10月	8名
	森林作業道作設（新規指導者育成）	指導方法、路網計画・作設指導実習	12月	5名
	機械整備技術習得	機械整備・点検、故障時の応急処置 等	11月	10名
伐採技術向上研修	前期	労働災害の現状・V R体験、基礎技術確認	5月	各10名 募集終了
	中期	指導方法の基本	6月	
	後期	指導の実践	7月	
林業機械体験研修	全3回	高性能林業機械の基礎知識・操作体験	8月	各15名
市町村等支援研修 （地域林政アドバイザー研修） ※全日程を修了された方には 修了証を交付	第1回	森林・林業総論、森林経営管理制度	5月	各15名
	第2回	森林計画制度、森林法令	6月	
	第3回	森林整備技術	7月	
	第4回	森林情報の活用	8月	
林業経営体育成研修	経営者向け	マネジメント研修 （経営に係る意識改革、職員の資質向上等） 講師：中小企業診断士等	5～2月	各20名
	管理職向け①			
	管理職向け②			
	職員向け			
	管理制度全般	森林経営管理制度、集積計画の作成 等	各15名	
	基礎知識①	素材生産（川上側）から木材消費（川下側）に関する基礎知識		
	基礎知識②			
	基礎知識③			
基礎知識④				

（注）研修内容は、天候等により変更になる場合があります。
（普及推進課 林業普及推進班）

技能講習会の開催（6月～8月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	岡山	6月26～28日(受付終了)	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(0868)28-9518  林災防岡山県支部 HP
	岡山	7月19～21日(受付終了)	
	津山	8月28～30日(受付終了)	
刈払（安全衛生教育）	津山	8月10日	
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催(出張)を実施することができます。 ※「伐木等特別教育」9月、10月分、受講申込受付中です。 詳しくはHPをご覧ください。			
小型移動式クレーン運転	津山	6月1～2日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	岡山	7月20～21日	
玉掛け	岡山	7月1～2日、6～7日 8月3～4日	
	和気	8月31～9月1日	
フォークリフト運転	岡山	6月1,17日、7月5,15,16日 8月10,26日	
	新見	6月21日	
	玉野	6月22日	
不整地運搬車	倉敷	7月25～26日	(株)PEO建機教習センター 岡山教習所 TEL(086)464-5411
はい作業主任者	岡山	6月22～23日、8月22～23日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)234-1332
林業架線作業主任者(免許)	福山	6月7日	中国四国安全衛生技術センター TEL(084)954-4661



中古林業機械 売ります！買います！




HITACHI
 日立建設機械
 油圧ショベル


Logisnext
 三菱ロジスネクスト
 フォークリフト


STIHL
 チェーンソー

各種林業アタッチメント


KEIWA NANSEI


IWA FUJI MOROOKA

各種機械のレンタル・修理も承ります！



富士岡山運搬機株式会社



林業機械

本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985

林 産 物 市 況

●木 材 (4月19日)
・出荷量 約1,700m³



単位：千円/m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	12	~	杉概況
		18~20	12	~	【3m】 柱 材 横這い
		22~28	12	~	中目材 横這い
	4 m	18~22	10	-	【4m】 中目材 横這い
		24~28	12	9.5	元 木 横這い
		6 m	16~18	-	-
桧	3 m	14~16	22	15	桧概況
		18~20	17	15	【3m】 柱 材 横這い
		22上	16	15	中目材 横這い
	4 m	16~18	16	15	元 木 横這い
		20~22	15.5	15	【4m】 柱 材 横這い
		24~28	15.5	15	中目材 横這い
	6 m	16	-	-	元 木 横這い
		18~20	33	25	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

●製 材 (4月)



価格：円/m³

樹種	寸 法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	85,000 ~ 90,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	~ 90,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	~ 95,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	80,000 ~ 85,000	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	~ 90,000	
	正角 4m 12cm角	特等	K	~ 90,000	
マツ	平角 4m 10.5~12cm ×15~18cm	一等	K	95,000 ~	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm角	特等	G	77,000 ~	
	平角 3m, 4m 10.5×15~21cm	特等	K	~ 99,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	100,000 ~ 105,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	~ 85,000	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千4百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと **27,444 円** (5年間計)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと **43,325 円** (5年間計)

1ヶ月あたり
約 460 円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約 720 円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売: 日植アグリ株式会社

販売元: 大同商事(株)大阪営業所

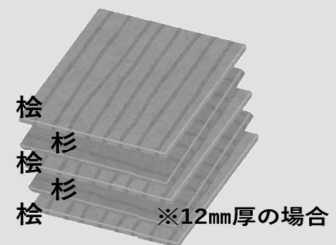
TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288



ヒノキのくに岡山から、100% 岡山県産材の合板が誕生

OKAYAMA
岡山県産材合板



県産森林認証材 ◇ 12 mm厚 910 mm × 1820 mm

JAS 桧構造用合板 ◇ 24 mm厚 910 mm × 1820 mm

※県産森林認証合板を床・壁・屋根に一定量以上使用すると、令和5年度おかやまの木で家づくり支援事業の助成を受けることができます。



お問い合わせ 〒701-1202 岡山市北区橋津 485

岡山県森林組合連合会 木材センター TEL 086-284-0299

おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額: 最大24万円/戸

助成対象者:

- ① 県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(450戸程度)
- ② " " " " 民間非住宅(50件程度)
- ③ " " 2㎡以上使用して改修する住宅(被災住宅)

詳細はこちら ↓

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>



一般社団法人 岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号

TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142

<http://www.yamatoya-net.com>

大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号

TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

林声

森林・林業施設の紹介

「作陽学園高等学校・食堂棟」

昨年度、木づかい提案・実証事業を利用して整備された、作陽学園高等学校の食堂棟についてご紹介します。

作陽学園高等学校は今年4月、津山市から倉敷市への移転に伴い、真新しい校舎が建設されました。そのうちのひとつである食堂棟は、延べ床面積約450平方メートルの木造平屋建てで、県産認証材を約30立方メートル使用しています。

食堂棟の空間造りとしては開放感が一番のコンセプトとしており、食堂中央にある7本の柱・梁をYの字に設け、構造材を露出仕上げとする事で、高い天井高を確保し、大空間を演出しています。また、東西の外壁面にガラス窓を多く設け、高校敷地の中央を流れる道口川を望みながら食事が取れる開放的なデザインとなっています。さらに、天井の表層仕上げに木材を使用することで、木材が持つ美しさ、温もりを表現しています。

なお、作陽学園高等学校では、木のもたらす健康面、情緒面での効果と合わせて、あえて架構を岡

山県産材として見せることが、利用する生徒等へ山の重要性を認識するきっかけになると考え、教育の場としての活用も意識されています。

食堂棟を利用される皆さんには、木材の温もりを感じていただきながら、有意義な学校生活を送っていただきたいと思っています。



食堂棟外観



開放的な空間の食堂棟

(倉敷普及指導区 山下 雅子)

令和五年五月一日(第四八九号)
(隔月一日発行)

編集 発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内
岡山市北区榑津四九一―一
岡山県林業改良普及協会



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs (持続可能な開発目標)

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
中国銀行岡山駅前支店 普通1852041
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



CT-500C

GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWA FUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



PECKER PRO

shindaiwa®

E20385R/400TVP

高性能林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<https://mitsuyoshi.com/>



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号 K0809236